

時間：令和6年5月14日（火）15：45～：

場所：相模原城山高校会議室

【出席者】（以下敬称略）

**学校運営協議会委員**

大石 進	横浜リゾート&スポーツ専門学校校長 桐蔭横浜大学 高大接続アドバイザー
小玉 敏也	麻布大学教授
鈴木 満博	市立広陵小学校校長
小島 盛生	城山地区自治会連合会会長
高野 朝枝	城山公民館館長
石坂 智	相模川水系ダム管理事務所所長
伊藤 泰宏	学校法人岩崎学園マーケティング・教育事業創造本部本部長
岩村 卓也	相模原城山高等学校PTA会長
小松 巖	本校校長

**本校職員**

黒川 裕樹	副校長
小野 貴史	教頭
近藤 久美子	事務長
飯田 香代子	総括教諭（教務グループ グループリーダー）
上田 聡子	総括教諭（進路グループ グループリーダー）
近藤 尚	総括教諭（生活グループ グループリーダー）
茂木 拓郎	総括教諭（生徒会グループ グループリーダー）
好田 寛子	総括教諭（総務グループ グループリーダー）
新山 牧	教諭（記録：総務グループ）

1 開会のことば（副校長）

2 校長あいさつ

9. で詳しく話したいと考えている

3 出席者紹介(自己紹介)

①学校運営協議会委員

②学校職員

4 本会の運用

P 1

年3回を予定。（第2回：文化祭一般公開日 第3回：検討中（年度末を予定））

5 委員長選出

大石 進氏を選出

6 グランドデザイン・スクール・ポリシー(副校長)

グランドデザイン： P 2別紙のとおり

スクール・ポリシー： P 3昨年度スタート 変更なし

7 学校教育計画 P 4、5

1. 学校のミッション： 昨年度から変更なし

2. 学校教育目標： 昨年度から変更なし

3. 計画策定時点での課題： 今年度新たにまとめた

4. 4年間の目標と主な方策：

4年間の目標は変更なし

目標達成に向けた主な方策は、具体的な形に修正した

(全ての科目でプログラミング的な思考を意識した授業展開を行う。公開研究授業を行う。)

8 令和5年度学校評価 P 6、7

3/21 にまとめたもの

9 令和6年度学校目標 P 8

ベースは昨年度のもの。前と大きく変更していない

特に力を入れるもの①情報活用能力に1番力を入れる。ICTプログラミング能力

②多様性を認める。何かに特化するのではない普通の学校をめざす

→職員には、職員会議資料で校長の今年度の指針は説明済みである

10 本年度の各グループの取組について

**教務：P10**

○教育実習生6月～3週間3名

○時間割について。後期から体育館改修工事のため、相模原総合高校体育館を借りて体育の授業など行う予定

○カリキュラムについて。新カリキュラム、新科目がスタートした。夏季集中講座も開講予定

**進路：P11**

○多様な進路希望に対してきめ細やかな指導をめざす

○インターンシップ拠点校となっている

**生活：P12**

○交通安全指導に力を入れている。自転車を7割以上の生徒が利用するため

○サポートドックを利用し、必要な生徒にすばやく漏れなく対応する

○スケアードストレイトを夏休み前に行う

**生徒会：P13**

○新たに今年度部活動顧問研修会で4日間の講義と実技研修会を実施予定(5/28、7/11、10/8、12/12)

**広報：P14**

○今年度力を入れているのは、ホームページなどの更新頻度を多くし、

行事・催し・日常の教育活動等の情報発信すること

○情報設備・機器関係の管理も徹底する

総務：P15

- 業務内容の、防災訓練やD I G訓練において、地域と連携して何かできないか今年度検討している
- 今年度の卒業証書授与式は、体育館改修工事のため、パルテノン多摩で実施予定

11 質疑応答・提言

Q. P8 などにあるプログラミング的思考とは？

A. P16 参照。見通しを立てて、目標に向かって、簡単な問題→難しい問題スモールステップをめざす  
評価は、授業評価などで行っている

Q. 人権研修を教職員にやっているというが、生徒に対してはどのように行っているのか  
地域のために動ける高校生を育てたいが、どのようなことを学ばせればよいと考えるか

A. 様々な教科の授業内で人権教育は扱っている

ボランティア活動など考えている。学校の教育力を中から外へ、外から中へ生かしたい

Q. 情報活用能力の育成のみにとらわれなくて欲しい。コミュニケーション能力や、地域や周りの人との交流で  
育まれる能力があるはず

A. 情報活用能力とは、P16 を参照。4つの視点として、抽象化、順序化、最適化、一般化する力を養うこと  
であるので、地域の教育力を生かしながら、地域と関わりをもたせていきたい

Q. 生徒指導数や、教育相談の件数について

A. 特別指導件数は減っている。教育相談は、QR コードから予約が取れるようになったなどの理由からか、増加  
している

P16 について。副校長

DX ハイスクール認定を受け、予算が1000万与えられた。視聴覚室の整備を進めるなどしていきたい

12 閉会のことば(副校長)

以上